

### (1) 事業の目的

今後発生が予想される東海地震及び東海・東南海・南海の3連動地震等から県民の生命・財産を保護するため、海岸堤防の嵩上げ及び液状化対策、粘り強い構造への改良等を実施することにより、地震・津波に強い、安全・安心な県土づくりを推進する。

### (2) 指標の達成状況

#### ①：レベル1津波に対する津波対策施設整備率（海岸）

平成29年度末の目標値2.7kmに対し、実績値は1.24kmであった。（達成率45.9%）  
 整備に関する地元調整及び構造の検討に時間を要し進捗が遅延したが、計画期間完了後も事業は順調に進んでいる。

指標	達成状況			
	H24末	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
レベル1津波に対する津波対策施設(海岸)の整備率	0.0 km	2.7 km	1.24 km	45.9 %

#### ②：海岸堤防の耐震化率

平成29年度末の目標値0.9kmに対し、最終実績値は0.0kmであった。（達成率0%）  
 整備に関する地元調整及び構造の検討に時間を要し進捗が遅延したが、計画期間完了後も事業は順調に進んでいる。

指標	達成状況			
	H24末	H29末最終目標	H29末最終実績	H29末達成率
海岸堤防の耐震化率	0.0 km	0.9 km	0.0 km	0.0 %

### (3) 指標①に関連する実施事例

相良須々木海岸（牧之原市）（堤防嵩上工）



### (4) 定量指標以外の効果発現状況

当計画の竜洋水門の耐震化により、全水門の耐震化が完了した。これにより、地震後の確実な操作が可能となった。

### (5) 今後の方針と目標達成見込み

引き続き、H30から始まった3か年緊急対策を活用するなど、各事業の進捗を図り、地震・津波に強い、安全・安心な県土づくりを推進する。R1年度中に指標を達成する見込みである。